

次の1～4の会話文の()にあてはまる最も適切な英語を、それぞれ下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

4 A : What () Takuya and Masaru play on Sunday?

B : They play tennis.

ア do イ does ウ is エ are

平成21～23年度の調査結果をみると、主語と動詞に応じて、適切な疑問文を構成する力の定着が不十分である。

適切な語を用いた
会話文の組立
通過率38.3%

<経年比較>

年度	通過率(%)
平成 23 年度	38.3
平成 22 年度	30.4
平成 21 年度	21.3

主な誤答と 無解答	割合(%)
エ	23.6
イ	21.9
ウ	14.9
無解答	1.1

誤答エ

主語が複数であることは捉えているが、この英文の動詞が一般動詞の play であることが理解できていない。【23.6%】

誤答イ

この英文の動詞が一般動詞の play であることを理解しているが、主語が複数であることが理解できていない。【21.9%】

➡ 文法事項を指導する際、一度きりの指導で終わっていませんか？

- 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、「まとめ」などとして比較対照しながら整理しましょう。例えば、「動詞のまとめ」として be 動詞と一般動詞について、動詞の用法や動詞を含む肯定文、疑問文、否定文の構造の特徴を比較対照しながら理解させましょう。
- 文法事項について、3年間の中で計画的に繰り返し指導を行いましょ。例えば、「一般動詞の現在形」の指導を、現在進行形、過去形、過去進行形のそれぞれの指導時や指導の前後に位置付けましょう。

➡ 文構造の正しい理解と定着を図る工夫を行っていますか？

- 主語は赤丸で囲む、動詞には青線を引くなど、主語と動詞に着目させて、文構造を視覚的に理解させましょう。
- be 動詞を含む疑問文と一般動詞を含む疑問文の構造を比較させながら、その違いを視覚的に理解させましょう。



次の1・2は、あなた自身のことについてたずねています。自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと
 答えをIで始まる英文1文で書きなさい。

2 あなたはこの前の日曜日(last Sunday)に何をしましたか。

I _____ last Sunday .

通過率55.8%

<経年比較>

年度	通過率(%)
平成 23 年度	55.8
平成 22 年度	52.7
平成 21 年度	48.2

平成21～23年度の調査結果をみると、通過率が60%を下回っており、過去形を用いて、自分のことについて読み手に正しく伝わるように書く力の定着が不十分である。

主な誤答と無解答		割合(%)
1	語順は正しいが、過去形になっていない	18.7
2	be 動詞と一般動詞を一緒に使って書いている	4.4
3	内容的にも文法的にも理解できない英文を書いている(語順の誤り、動詞の脱落など)	3.4
4	無解答	8.0

誤答 1 語順は正しいが、過去形になっていない。【18.7%】

➡ 現在形と過去形を意識して英文を書かせていますか？

- 英文を書かせるときに、現在形、過去形といった時制に注意をさせましょう。また、書かせた後読み直させ、時制を必ず確認させましょう。
- 肯定文、疑問文、否定文を書かせるときには、現在形と過去形の両方の英文を書かせる活動を行いましょ。その際、生徒の書いた英文の誤りを取り上げるなどして、動詞、助動詞などの語形の変化についての理解を深めましょう。

誤答 2・3 正しい語順や語法を用いて文を書くことができていない。【7.8%】

➡ 語順に注意して英語で表現させていますか？

- John called you.を You called John.と順序を変えると意味が大きく異なるといった例を示し、英語では意味の伝達において語順が重要な役割を担っていることを理解させましょう。
- 英語の語順について、日本語と対比させたり、図式化したりして理解させながら、語順に注意して話したり、書いたりさせましょう。

